



真っ白な紙に、黒墨で大きく堂々と！ 新年席書大会

1月5日、ふれあい交流センターくまいし館にて、「熊石地域児童生徒新春書初め席書大会」が開催され、小学生から中学生までの児童・生徒30名が参加しました。また、1月7日には、公民館にて「八雲地域小中学生新年席書大会」が開催され、小学生から中学生までの児童・生徒62名が参加しました。両大会では、それぞれ参加者が自慢の筆使いで文字の美しさや力強さを競い、「元気な子」「希望の朝」「友だち」など思い思いの題を書きました。



4町の魅力を伝える！ 4町グルメキャラバン

1月17日、噴火湾パノラマパークにて、北渡島檜山4町地域連絡協議会の主催で、3月の新幹線開業を見据え「4町グルメキャラバン」を開催。会場では、「今金黒毛和牛すじ煮込みスープ(今金)」「若松ポークマン豚串、ポテトアラカルト(せたな)」「ホタテ毛がにしゅーまい・ホタテ焼(長万部)」「鮭節ラーメン(八雲町)」が試食として提供されました。このほかにも、特産品の販売、どどん鼓座、もちつき囃子、各町で活躍するキャラクターなどの登場や、特産物やペア旅行券が当たる抽選会が開催され、来場者は各町の魅力を楽しみました。



地方創生 活力ある地域を目指して！

八雲町人口ビジョン・ 総合戦略を答申

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、昨年5月に町長から八雲町総合開発委員会へ諮問をして審議してきた総合戦略の策定について、1月28日開催の委員会にて、大江会長から岩村町長へ「八雲町人口ビジョン・総合戦略(案)」が答申されました。この戦略は、少子高齢化による人口減少社会にあって、八雲町が安定した人口構造を保持し、若い世代を中心に、将来にわたって町民が安心して働き、結婚・出産・子育てができる活力ある地域を維持していくため、基本目標、主要施策を定めたものです。今後、町内の関係機関や団体と連携を図りながら、着実な推進を図っていくこととしています。



短縄跳びで全道1位！

雲石小学校 どさん子元気アップチャレンジ表彰式

2月1日、雲石小学校(澤田晶校長、児童33人)で、平成27年度「どさん子元気アップチャレンジ」短縄跳び選手権(道教育委員会主催)の表彰伝達式が行われました。道内公立小・中学校の児童生徒が種目ごとの記録に挑戦しながら体力の向上を図る取り組みで、雲石小学校では短縄跳び選手権に挑戦し、全道1位を含む上位入賞を果たしました。短縄跳び4年生の部で、全道1位の630回を記録した高橋啓汰くんは、「表彰を貰えてうれしい。もっと記録を伸ばしたい」と笑顔で話しました。

